

茨木スクールカウンセラー研究会 日記

第23回 2013年6月開催 理論と臨床 の巻

今日からアタッチメント理論の輪読会が始まりました。Bowlby が初めて示したアタッチメントの定義は、今日私たちが日常的に使っている“アタッチメント”とは、大きな違いがありました。原点に立ち返り、理論を理解した上でアセスメントができる心理士を目指そう！との意気込みが参加者の中に芽生えた…はずです。

もう一つは、前回同様「コメント力」の練習。現場で先生方に相談された内容を基に、心理士としてアセスメントを行う。すぐにカウンセリングにつなげる対応ではなく、問題を明確にし、先生方にも行動観察を促しアセスメントを深める。心理士が直接介入する時期を見定めていくことも重要なのかも。そんな2本立ての回でした。

記録： はんなり (臨床心理士)

日 時 : 2013年6月29日(土) 19:00~21:00

場 所 : 茨木市男女共生センター ローズWAM

参加者 : 6名(大阪府SC、兵庫県SC、奈良県SC)

本日の話題:

1. アタッチメント理論について輪読会
2. ケース担当者からの相談を聞いてコメントする

次回開催予定 : 2013年7月20日(土) 16:00~18:00